

第3【設備の状況】

1【主要な設備の状況】

当中間連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

2【設備の新設、除却等の計画】

前連結会計年度末において計画していた当連結会計年度の設備投資計画額を次のとおり見直しております。

事業の種類別セグメントの名称	変更前計画額 (百万円)	変更後計画額 (百万円)	設備等の主な内容・目的
ソフトウェア・サービス	75,000	65,000	アウトソーシング関連設備、ネットワーク基盤設備等の更新及び拡充
情報処理	70,000	50,000	磁気ディスク、グローバルサーバ及びUNIXサーバの製造設備、研究開発設備等の更新及び拡充
通信	50,000	25,000	次世代移動通信システムの製造設備、研究開発設備等の更新及び拡充
電子デバイス	260,000	175,000	フラッシュメモリ、ロジックIC及びプラズマディスプレイパネルの製造設備、研究開発設備等の更新及び拡充
金融、その他、全社（共通）	25,000	25,000	電子材料及び電池の製造設備等の更新及び拡充
計	480,000	340,000	-

(注) 1. 今後の所要資金は、主として自己資金により充当する予定であります。

2. 設備投資の計画額は、消費税等抜きで表示しております。

3. 電子デバイス部門の設備投資計画額の減少は、主として電子デバイス部門の市況が悪化していることに対応して製造設備を削減したことによるものであります。

4. 経常的な設備の更新のための除・売却を除き、重要な設備の除・売却の計画はありません。

5. 全社（共通）は、当社の一般管理部門及び共通研究等のセグメント配賦不能な設備投資額であります。